



STILLALIVE
国際芸術祭
あいち2022
連携企画事業

絵本原画

三才

猫が歩く絵本の世界



2022 7/30(土) ▶ 10/10(祝) 月祝

開催時間：午前9時～午後5時(ただし、入館は午後4時30分まで)
休館日：毎週月曜日(9/19(祝)、10/10(祝)は開館)、8/12(金)、9/20(火)
観覧料：一般800円、高校・大学生400円、中学生以下無料

※コレクション展(三岸節子常設展示室)観覧料を含む
※20名以上の団体は2割引
※一宮市内の満65歳以上で住所・年齢の確認ができる公的機関発行の証明書等を持参された方、身体障害者手帳・戦傷病者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳を持参の方(三ライDID可、付添人1人を含む)は無料
※8/2(火)、9/2(金)、9/22(木)、10/2(日)「ニヤー1の日」は2割引でご鑑覧いただけます。
(他割引との併用は不可)
※9/6(火)「黒猫の日」に黒猫コーデ(上下真つ黒や黒猫に扮した服装)で来館された方は観覧無料
※国際芸術祭「あいち2022」現代美術展チケット(1DAY)は、フリーパス(いずれも可)を
国際芸術祭「あいち2022」現代美術展が2割引となります。また、本展チケットを国際芸術祭の各会場に
持参の方は、本展観覧料が2割引でご提示の場合に限り、国際芸術祭「あいち2022」現代美術展
ある直営チケット売場等でご提示の場合に限り、観覧料が100円引きとなります。

100%ORANGE | 町田尚子 | ささめやゆき
瀬川康男 | きくちちぞ | あおびんご | 馬場のぼる | にしまわかやこ
石黒亜矢子 | 片岡まみこ | ハンス・フィッシャー | 加藤休三 | 牧野千鶴 | きむらよしお | 大道あや

主催：一宮市三岸節子記念美術館
特別協力：あかね書房、岩崎書店、岩波書店、WAVE出版、偕成社、学研プラス、
くもん出版、好学社、講談社、こぐま社、小峰書店、小学館、
小さな絵本美術館、ちひろ美術館、童心社、福音館書店、富山房、
ブロンズ新社、文楽堂、リトルモア
協力：中川素子(絵本学会元会長、文教大学名誉教授)、福永信(小説家)
企画協力：青幻舎プロモーション

一宮市三岸節子記念美術館
〒494-0007 愛知県一宮市小信中島字郷南3147-1
TEL:0586-63-2892 FAX:0586-63-2893
KINOSHITA CITY MUSEUM OF ART
三岸節子記念美術館
http://a-museum.com

きくちちぞ「ちきばんにゃー」学研プラス 2014年

きくちちぞ「しろねこくるねこ」学研プラス 2012年

きくちちぞ「ちきばんにゃー」学研プラス 2014年 / 猫のあしあと:片岡まみこ / ログデザイン:権名麻美





きくちちき「ちきばんにやー」
学研プラス 2014年

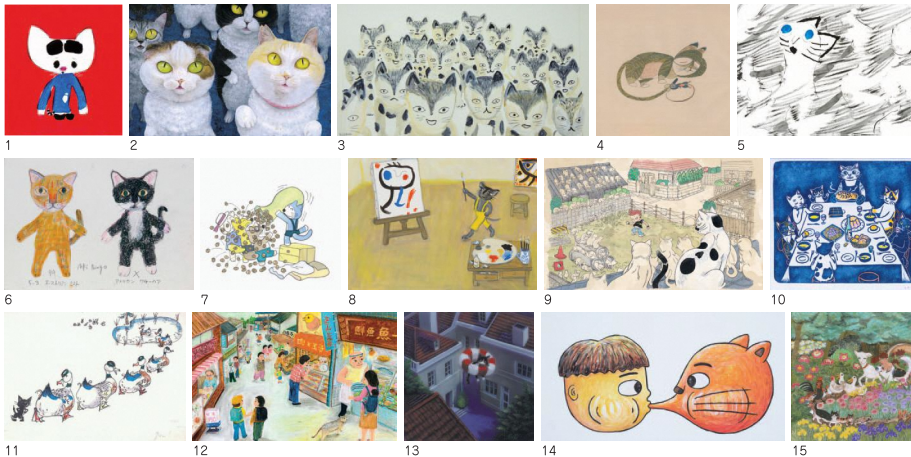
絵本原画

ニヤー!

猫が歩く絵本の世界

絵本にはたくさんの動物が登場します。なかでも猫は人気者です。絵本の中の猫たちはいろんな形や色をしています。太い線で描かれたり、細い線で描かれたり、さまざまです。リアルだったり、シンプルだったり、一匹たりとも

同じ猫はいません。現実の猫に似ていたり、まったく見たことのないようなへんな色だったり。みんな絵本の中でしか出会えない猫たちです。本展では、気鋭の若手作家から誰もが知っているベテランまで15組の絵本作家たちによる絵本の猫たちを紹介します。約250点におよぶ原画やスケッチ、制作資料からは、画家の息遣いまで感じることができます。さまざまな線や色、形で表現されたユニークな猫たちを通して、「絵」のおもしろさ、豊かさをお楽しみください。



1: 100%ORANGE「ねこのセーター」文楽堂 2016年(学研プラス 2006年)
2: 町田尚子「ネコツメのよる」岩崎書店 2021年(WAVE出版 2016年)
3: ささめやゆき「あしたうちにねこがくるの」講談社 2000年
4: 瀬川康男「ふたり」富山房 1981年 ちろろ美術館蔵
5: きくちちき「ねこのそら」講談社 2015年
6: あきびんご「ねこだらけ」くもん出版 2015年
7: 馬場のぼる「こぶたたんぼほほけつとたんぼ」こくま社 1990年
8: にしまきがやこ「えのすきなねこさん」童心社 1986年
9: 石黒垂矢子「はねこ ぞろぞろ」あかね書房 2015年
10: 片岡まみこ「まんげつ之夜、どかねこのあしがいっぽん」小学館 2016年
11: ハンス・フィッシャー「ねこのひつち」岩波書店 1954年
12: 加藤林ミ「きょうのこはん」偲成社 2012年
13: 牧野千穂「うきわねこ」プロンス新社 2011年
14: きむらよしお「ねこガム」福音館書店 2005年
15: 大道あや「けとばしやまのいばりんぼ」小峰書店 1980年
猫のあしあと: 片岡まみこ
ロゴデザイン: 椎名麻美

●ワークショップ「スタンプ版画で猫の絵本をつくらう」

内容: 消しゴムハンコを使って、ユニークな猫の絵本づくりに挑戦! どんな猫の絵本ができるかな?
日時: 8/20(土) 10:30~12:00
講師: きくちちき氏(出品作家)
対象: 年少~小学生(小学3年生以下は保護者同伴)
定員: 20名(先着)
参加費: 1000円
申込み: 8/6(土) 9:00から電話(0586-63-2892)にて受付

●アーティストトーク「はじめは猫の絵本」

内容: デビュー作『しろねことくろねこ』や、手製本のことについてお話しいただきます。
日時: 8/20(土) 14:00~15:00(開場13:30)
講師: きくちちき氏
定員: 60名(先着)
参加費: 無料
申込み: 不要(当日直接会場)

●講演会「猫が絵本を面白くする」

内容: 絵本において猫がどのように描かれてきたか、担当作『ネコツメのよる』『えとえとがっせん』を中心に様々な絵本を見ながら考えていきます。
日時: 9/3(土) 14:00~15:30(開場13:30)
講師: 筒井大介氏(野分編集室・本展図録編集)
定員: 60名(先着)
参加費: 無料
申込み: 不要(当日直接会場)

●ワークショップ「猫のプローチをつくらう」

内容: 自分だけの猫のプローチを作ります。
日時: 9/10(土) 14:00~16:00
講師: 片岡まみこ氏(出品作家)
対象: 小学生~大人まで(小学3年生以下は保護者同伴)
定員: 20名(先着)
参加費: 1500円
申込み: 8/6(土) 9:00から電話(0586-63-2892)にて受付

●絵本 読み聞かせ

日時: 8/4(木)、8/31(水)、9/19(月・祝) 各14:00~
読み手: 中須賀朱美氏(朗読グループ 言の葉)
参加費: 無料
申込み: 不要(当日直接会場)

●学芸員によるギャラリーガイドツアー

日時: 8/28(日)、10/1(土) 各14:00~
参加費: 無料(要観覧券)
申込み: 不要(当日直接会場)

●いつでもワークショップコーナー

お手紙コーナー「作家にお手紙を描いてみよう!」& スタンプコーナー
日時: 会期中いつでも
参加費: 無料
申込み: 不要(当日直接会場)

●黒猫の日

9/6(火)は「黒猫の日」。黒猫コーデ(上下真つ黒や、黒猫の耳・尻尾をつけた服装など)で来館の方は観覧無料。ほかにも黒猫スイーツ販売や黒猫コンサートなど黒猫まみれの一日。(詳細は当館SNSでお知らせ)

●ワイヤーカット「ベル」お出かけ展示

一宮市内5施設(中央図書館・尾西図書館・玉堂記念木曾川図書館・子ども文化広場図書館・地域文化広場図書館)に、三岸節子の愛猫「ベル」がワイヤーアートになって出沒。さらに当館土蔵展示室には節子も登場。全部見つけられるかな?
ワイヤーアート制作: 水谷一子

同時開催

●三岸節子 コレクション展(常設展)「いきものカタチ」

カラフルな馬、ざらざらした魚、対話するような小鳥、シマシマの解けていく縞馬... 節子の作品の中には素材でありながらユニークな形をした動物たちが登場します。動物たちのすがたや花の形に注目して、節子の作品を見てみましょう。
会期: 7/16(土)~10/10(月・祝)

●子どもミュージアム2022「不思議の美術館のあぐ」

節子の初期作品のモチーフとして登場していた「人形」にスポットを当て、愛知県在住の人形作家あぐ氏の作品と共に館内を巡ります。
会期: 7/16(土)~10/10(月・祝)

●いちのみやミュージアムズ「3館deスタンプラリー」

一宮市博物館・三岸節子記念美術館・尾西歴史民俗資料館をまわってスタンプを集め、記念グッズをゲットしよう!
会期: 7/16(土)~10/10(月・祝)

●国際芸術祭「あいち2022」

一宮市も会場に、国際芸術祭「あいち2022」が開催されます。
会期: 7/30(土)~10/10(月・祝)
主会場: 愛知芸術文化センター/一宮市/常滑市/有松地区(名古屋市)
主催: 国際芸術祭「あいち」組織委員会

*新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、予告なく中止・変更となる場合があります。最新情報は当館SNSをご確認ください。 *当館および一宮市が取材した記録映像・音声等は、加工せずそのままウェブサイトや広報紙に掲載することがあります。

一宮市三岸節子記念美術館
〒494-0007 愛知県一宮市小信中島宇郷南3147-1
メールアドレス migishi@city.ichinomiya.lg.jp <https://s-migishi.com>
f @s.migishi.museum i @s.migishi.museum t @s_migishi_museum

〈交通案内/公共交通機関をご利用の場合〉 **名古屋駅より電車とバスで約40分**

- JR東海道本線(名古屋駅5⑥番)にて「尾張一宮駅」下車、または名鉄名古屋本線にて「名鉄一宮駅」下車(JR新快速・名鉄特急で10~15分)、一宮駅西口の名鉄バスターミナル②番のりばから「起(おこし)」行きで約15分、「起工高・三岸美術館前」バス停下車、徒歩1分。[バスは1時間に約3本で運行]
- 岐阜羽島駅(東海道新幹線)よりタクシーで約20分

